



氏名	ヤノセ 稔瀬 シュウジ 薬瀬 捨治
事務所	長島・大野・常松法律事務所
住所	〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3-12 紀尾井町ビル
電話	03-3511-6106
FAX	03-5213-2206

主な経歴

東京大学法学士(1966年)
東京弁護士会登録(1968年)
米国コロンビアロースクール修士(1972年)
東京弁護士会常議員2回(2000年及び2005年)
日本弁護士連合会代議員(2000年及び2005年)
東京弁護士会あっせん・仲裁委員会委員(2004年)
東京弁護士会紛争解決センター運営委員会委員(2005年～2010年)
法政大学法科大学院兼任教授(国際私法・国際取引法担当)(2005年～2011年)
上智大学法科大学院非常勤講師(仲裁・ADR・交渉・予防法務ワークショップ担当)(2007年～2011年)
早稲田大学法学学術院客員教授(2009年～2011年)
日本仲裁人協会理事(2005年)(同評議員2006年～)
オーケー株式会社(東京都大田区)社外取締役(2006年～)
株式会社ホギメディカル監査役(2007年～)
雪印乳業株式会社(現雪印メグミルク株式会社)企業倫理委員会社外委員(2008年～)
金融ADR・オンブズマン研究会会長(2007年・2008年)
米国の国際仲裁協会(Institute for Transnational Arbitration)の主催する“International ADR”(各国ADR関係法及び判例を紹介するためのウェブサイト)のための日本担当レポーター(2001年～)
東京恵比寿ロータリークラブ(2004年～)

自己紹介

1968年の弁護士登録以来、主として涉外関係の企業法務を取り扱っています。外債発行などの証券関係案件、証券化・流動化案件、合併事業や技術援助契約案件、M&A案件などの取引案件を担当するとともに、国際的な関係を有する国内及び海外の紛争案件を担当しています。あっせん・仲裁の分野では、海外での案件に関与しています。

あっせん人・仲裁人としてのコメント

契約の交渉や紛争解決のための交渉の経験がたくさんあります。このような経験を生かして関係者の意見をよく聞いて問題をよく理解するよう努めます。そのうえで争いとなっている重要な点を整理したうえで、妥当な紛争解決案を提案したいと思います。

経験ある分野・担当可能な分野

涉外、金融ADR